

# 修徳

題字：伊藤博文

発行所  
修徳自治連合会  
広報委員会  
修徳社会福祉協議会  
発行責任者 藤原 實  
編集責任者 小西 宏之  
印刷所 (有)章美プリント

毎年、社会福祉法人  
下京区社会福祉協議  
会から助成金をいた  
だいて、広報紙作成  
の一助にいたしてお  
ります。

## 震度6~7にスケールアップ

### 自主防災訓練

### 災害に強いまちづくり

## 木造家屋の耐震対策が心配

### 西日本は活動期に入ったか？

自主防災会の防災訓練から十二日目の十月六日午後一時三十分ごろ、京都市はゆらゆらりと大きく揺れた。やや遠い地域だが大地震と直感した。阪神大震災の震度七にくらべて、震度六強との違いには驚いた。未知の活断層の横ずれ、神戸のような堆積層ではない固い地盤、雪の重みに耐えるための太い梁や柱など条件の差異があるとはいえず、今回の、鳥取県西部地震の被害が少なかつたのは、不幸中の幸いだった。西日本は活動期に入ったという実感がする。「震度七で倒壊しない家屋対策ができていない」。識者のこの指摘が気になる。

### 震度七の重みと「想定被害状況」

午前九時三十分、『京都府南部に震度六から七の地震が発生、修徳学区に被害が集中している』という想定で、今年も防災訓練が開始された。昨

### ご来賓のご指導に感謝

### 今年も避難人員増える

#### ご来賓

- 下京区役所 藤田副区長
- 藤木企画総務課長
- 下京消防団 西脇下京消防団長
- 下京消防署 三浦下京消防署長
- 諏訪消防司令 喜山消防士長
- 以下、ご指導の署員十八名

各町の避難人員は、昨年の二十二名増についで七名増加し、二百九十八名となる。自主防災会十八名、下京消防署員十八名、消防分団員十三名、女性会二十七名、参加者数は合計三百七十四名であった。

今年も  
大江町の意識高揚  
ジェット風船舞う



各町の情報班の被害状況の報告内容は、被害が大きくなるほど、各町間の件数のばらつきが大きくなるだろう。各ブロック長が、ブロック内各町への救出救護班、消火班など各班の人員の重点配置を指示し、各町担当班が移動して訓練にあたるシミュレーションも、必要になるときがきていいると思われる。

## 第50回 社会を明るくする運動

### 記念セレモニーに参加して



今年、『社会を明るくする運動』は第五十回記念を迎え、七月三日、京都駅室町広場において開催されました。

京都府知事をはじめ、法務省関係各機関の方がた、下京北地区保護観察協会篠原会長、さらに、五条、七条各少年補導委員会、下京北地区更生保護委員会、下の各会員の皆様、そして私ども下京保護司会など総勢五百名余り、この運動の半世紀の感慨を胸に、午後二時の開会を待ちました。

### 明るい選挙推進協議会 新役員決まる

平成十二年十月一日より、平成十四年九月三十日までの『下京区明るい選挙推進協議会推進員』は、つぎのお二方にお世話になることになりました。

- 中村 裕様(高砂)
- 今竹彰子様(布屋)

なお、前任者のお二方、黄瀬良彦様(布屋)と山岸春子様(大江)には過去二年の任期中ご活躍いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

選挙管理委員会 柿本禎三

### 避難訓練には風向き情報も

最近、京都テレビのゼミナールで、京都市消防局の理事が危機管理研究所の指摘に従い、大地震の火災にヘリコプターを使用すると明言した。火災の延焼方向だけでなく、大量の消火剤の流れに対しても、風向きなどの局地的な気象情報が必要である。避難方向は生命を

### 目を引く倒壊家屋

避難してきた学区民は今年も煙のなかから訓練の訓練に移った。つぎに柿本第一ブロック長の指揮で、倒壊家屋からの負傷者の救出訓練と近森第二ブロック長の指揮で、

### 一般参加者が放水訓練体験

従来、消防分団員が勇姿を披露していた小型動力ポンプの放水訓練は、一般の参加者に体験してもらった。挑戦した男性二名一組、女性二名一組



倒壊家屋の負傷者  
大震災の倒壊家屋

## 自主防災のつどい

### 語り合いを楽しむ

女性会のご協力による給食配布訓練のおにぎり塩屋さん(高砂)、そして数井さん(玉屋)ご苦労さまでした。抽選券六百四十六枚をお買いあげいただいた学区民の皆様、まことにありがとうございます。自主防災会 副会長 平井常夫



▲今年是一般参加者が、小型動力ポンプによる放水訓練に挑戦した。

### 倒壊しない対策

わが家の耐震診断ぜひ、お考えを！

阪神淡路大震災では、八万二千棟を超える木造住宅が、全壊しました。『建築後三十年を経た建物では崩壊、大破したもののが五十八パーセント』あり、『家屋倒壊のための圧死によるものがこの震災の死者の大部分』(茂木清夫『考え直そう地震防災』岩波ブックレット)です。

費用 ※三千元  
※建設会社の無料診断より気兼ねがありません。  
構造 木造戸建(含む長屋)  
規模 二百平方メートル以下  
融資 三百万円  
(耐震補修費、改修)  
申込者 所有者  
申込先 京都すまいづくりセンター  
①六〇一―八〇四―  
問合せ先 申込先と同じ  
(毎月曜日、祝日、定休)  
②六九三―五一一―  
詳しくは  
京都市都市計画局  
建築指導部指導課  
③三三二―三六二〇

## 夢の半径、広がるね。



中 信  
CHUSHIN

五条支店  
五条通西洞院角  
☎(351)2951

# 薄暮からの事故を防ぐ

修和会

社福協

交対協

統計によると、日本ではアメリカやドイツなどと較べて、歩行中や自転車乗車中の死者の比率がひじょうに高い。つまり、交通弱者が住みにくい生活道路環境である。高齢者、子供、障害者のためのバリアフリー道路チェックの試みの予定もあり、近隣学区の交通対策協議会と協力して、まちづくりをすすめていきたい。

## どんな色の服を着ると安全!

### 修徳シルバー交通安全教室

#### 歩く時安全施設を活用

平成十二年の敬老の日、九月十五日午前十時から一時間、交通対策協議会と社会福祉協議会の主催、修徳シルバー交通安全教室が、修徳小仮設会議室で五十六名が参加して開催された。五条警察署の交通巡視員さんの潮田さん、片岡さん、三津田さんの三名が指導のため来訪された。片岡さんと三津田さんは、着任早

早なのに、交通事故の事例で、安全施設の活用をしっかりと指導された。秋が深まると午後六時からはもう暗い。そこで、車から自分たちの安全を守るには、運転者に、ひとが歩いていると認識してもらわねばならない。秋から冬にかけては、どうしても、白いものは着ない。紺色や茶色など暗い色を着るようになる。秋冬は生活のうえで要注意

たい。白、黄、ライトブルーは八十五メートルのところで「何か動いているな」とわかる。六十メートルまでくると色がわかる。赤色は四十メートル、緑色は二十メートルでわかる。一般的な車道の制限内速度で走行して、歩行者を見て瞬間にブレーキを踏んでも、車が停止するのに二十メートルも進むから、緑色は間に合わない。車は制限内速度をオーバーし



## 防災訓練炊出しお手伝い

今年初めて参加させていた。私達は、四百個のおにぎり作りと聞いて、どんな事になるのかと心配しましたが、女性会の皆さんのチームワークの良さには、感心いたしました。清潔に整えられた場所に美味しそうな梅干し、たくわん、炊きたてのご飯が次つぎと運ばれ、会長の「始めてください」

### 400個のおにぎり作り



もし方が一の時にも、こんな段取り良く皆さんと協力し合ってお手伝いできたなら、本当に素晴らしいことだと思えます。女性会の二十七名の皆様、ご苦労様でした。

女性会 高橋陽子

## 女性のつどい

12月7日(木)

ミレニアム最後の行事「クリスマス会」の趣向をお楽しみに。ぜひお越しください。

女性会

## 下京シルバークラブ

宝ヶ池ウォーキングに参加して

八月二十九日午前九時に京都駅に集合し、バスで深泥池へ、ここを起点に森と緑の美しい宝ヶ池公園の周辺遊歩道を約一時間三十分ユックリと散策した。終点は五山送り火の「法」の字がとめる山麓にある松ヶ崎大黒天ふくよかな大黒さんにお詣りもできた今回の下京シルバークラブ主催のウォーキング会は、たいへん有意義なレクリエーションであった。

修和会 会長 中村弘一

## 告知板

七月十日 総会と  
交野女子学園訪問  
九月十二日 下京三集会  
子育て支援地域活動について話し合い  
九月二十八日 ブロック別研究協議会  
十月六日 愛のチャリティーコンサート  
有馬稲子トークショー  
更生保護婦人会  
修徳理事 柿本富美恵

## 更生保護婦人連盟ブロック研究会

### 地区研修会に参加して

『子育てに思うこと』と題しての講演会では、「今問題になっている少年たちは特別ではなくて、ごく普通の家庭で育った少年たちである。」との具体的な話を聞き、身の引き締まる思いがしました。

### 一味違った視座で 親と子とを支援

女性の社会参加の大切さも感じながら、一方、ある時期、両親が家庭で真剣にまた和やかに、子供と向かい合う時間と、環境と、ゆとりが必要だと痛感しました。とくに今は横社会にスポーツが当たり過ぎ、同年齢の集う機会が多い。でも年齢差を超えた考えを聞く場があれば、子、親、祖父母、知り合いのおおちゃんとして、ともに育ち合えるのではないかと、深く感じました。

更生保護婦人会 富田迪子



夏休み最後の日曜日、少年補導委員会は、修徳社会福祉協議会の協賛をいただき、松尾の桂川河川敷で野外バーベキューを実施いたしました。

## 野外バーベキュー 思い思いに遊ぶ

五条少補

たいへん暑い日でした。が、男子支部役員さんに早朝から、荷物などを運んでいただいたお蔭で、阪急電車での現地到着時には、木陰におおきなブルーシートが敷かれ、準備も整っていただきました。早速、全員で火をおこし、焼きそば、

## 景品ゲット嬉しい

修徳五十二人も参加

少補学生班

格致deゲーム  
五条少補学生部主催の第十五回『親子のつどい』が、九月三日(日)元格致小学校で行なわれました。今年も、格致deゲームということで、じゃんけんゲーム、輪投げ、などなど、ボール当て、空缶積みなどのゲームを楽しみました。子供たちは、ラリー形式で得点を競い、得点に応じた景品をゲットして、とてもうれしそうでした。参加人数約二百十名のうち、修徳学区からは、五十二名というたくさんの方々が参加されました。残暑厳しい時期でしたが、当日は雲の多い天気、吹く風も心地よく、残暑もちよつとやわらいでくれた一日でした。

五条少年補導委員会  
修徳支部 青木富子

## 女性会模擬店

みたらしだんご名物に  
あてになるのか秋の空。女性会のみんなが心配していたように、中村会長は早朝五時すぎから西に東に空を見上げ、業者の方からの問い合せ訪問に、バタバタと汗だくで一日が始まりました。

威勢のよい号砲に、軽快な足どりとともに模擬店も開かれました。名物のみたらしだんごも年を重ねるごとに、業者そっこのけの手際よさ。こっぴどい、美味しそうな焼けるにおい。

女性会 菊池悦子



# 各町の選手に盛り上がる意欲

## ふれあいの学区民大運動会

### 雨の中開催の決断が光る

前夜来の雨に加えて、早朝にもひと雨あつて、雨音に目覚めながら開催を危ぶまれた方も多かったろう。「思ったより校庭の状態がよかった」という実感から、天気予報よりも、グラウンドの湿度を優先してみた。ふれあいと各町選手に集中する声援が、順調に競技を盛り上げて進む。しかし、とうとう、天は待ち切れなくなったのさ。二時ごろから西の空が真っ黒に、喫煙競争ごろにはぼつりと落ち出した。決勝競技を優先して、三競技は割愛することになり、この三競技を楽しむにしておられた幼児、高齢者、女性の方がたには申し訳なく思っている。なんとか成功のうちに終われ、学区民の皆様方のお陰と、とても感謝している。

## 天は待ち切れなかった？ 最後は雷雨のなか力走

学区民運動会は、十月九日(祝)、成徳中学校の校庭で、午前九時に、来賓の方がたを迎えて、開会式が始まった。

篠原会長が、あいさつで総合福祉施設の建設の工程や修徳公園のデザインが決まりつつあることを述べたあとで、ふと

大江町の前に置いてある優勝カップなどのかたまりが目に入ったのか、即興で「大江町だけに競技優勝が片寄っている。楽しく愉快な運動会にするため、他の町内も奮起してほしい。」と励ました。町内会の控え席は、いつもより歓声が大きいように感じた。

効果は抜群だった。優勝町内会は、大江町が女子スプリンリレー競技と置き競走、中野之町が玉入れ競技と壮年風船競走、布屋町が男子スプリンリレー、敷下町が玉送り競走と、それぞれ分けあつた。

洛西の空へと黒い雲が流れ、真っ黒になるのがみえた。隙間に稲光も見え、雷の音が聞こえてきた。午後三時には、雷雨が競技を止める予感と予感し、す



雷雨の中  
布屋力走

ぐに決勝競技の優先を決断した。置き競走決勝を実施して、つぎの男子スプリンリレーのさなかから、激しい雨となった。

こんなことは初めて、他町の若いランナーはすべって動きがとれない。布屋町の熟年(？)ランナーは、ゆっくり(？)雷雨のなかを力走し、優勝した。

成徳中学校のご配慮で、急ぎよ体育館に会場を移した。まず、お待ちかねの幼児競走の参加賞を渡し閉会式に入った。

閉会式が終了するとラッキー賞の抽選でもう一度楽しんだ。

大会総務 佐倉道彦



中野之が46個、大江43個



アクシデントもあったが大江順当勝ち

### ご来賓紹介

- 下京区  
 区長 岡本 重雄 様  
 地域振興課 課長 福田 正 様  
 下京区体育振興会連合会 会長 筒井 秋雄 様  
 副会長 木下 昭男 様  
 相談役 西脇 尚一 様

- 成徳中学校 校長 清水 孝章 様  
 教頭 吉田 光廣 様  
 洛央小学校 校長 吉川 栄一 様  
 教頭 梅戸 徹 様  
 元修徳小学校 校長 佐々木 毅 様  
 楊梅幼稚園 園長 鈴鹿 幸子 様

成徳中学校様に心からお礼申し上げます。

### 学区民運動会成績

- 玉入れ競技 (京都市長杯)  
 ①中野之 ②大江 ③深草 ④亀屋  
 女子スプリンリレー (京都市長杯)  
 ①大江 ②深草 ③御供石 ④玉屋  
 壮年風船競走  
 ①中野之 ②大江 ③布屋 ④材木  
 玉送り競走 (京都市長杯)  
 ①敷下 ②大江 ③御供石 ④中野之  
 置き競走  
 ①大江 ②亀屋 ③材木 ④深草  
 男子スプリンリレー (京都市長杯)  
 ①布屋 ②大江 ③小田原 ④敷下

### 米寿のお祝い

米寿おめでとうございます  
 今年も敬老の日を前に、米寿をお迎えになった皆様に、京都市より「敬老記念品」が贈呈されました。二十一世紀に向かつて、ますますお元気で過ごしてくださいませ。お祈り申し上げます。

民生児童委員会 総務 堀 順象

### 対象の方がた

- 岡本 丞(小田原) 八重(深草) 北島 潔子(材木) 近藤 清一(亀屋) 坂田 初栄(大堀) 田中 信道(月見) 松井弥三郎(深草) 松尾はま子(富永) 矢部小ふさ(大堀) 山崎キクエ(大江) 山本さかゑ(亀屋) 和田 キノ(敷下)
- 五十音順・敬称略

### 告知板

九月十四日(木)  
 満七十歳以上の高齢者の方がたへ「敬老祝い」として、今年も二百九十六名の方に「万寿堂」の赤飯をお届けいたしました。ご夫婦揃いのところへは、昨年同様「おはぎ」とペアにさせていただきます。

九月十五日(金祝)  
 ※「下京区早朝ウォーキング大会」が、梅小路公園をメインに開催されました。清掃活動、すこやか体操、スタンプラリーと、子供さんからご年配の方まで、多数の方が参加されました。

※交通対策協議会と共催の「シルバー交通安全教室」には今年も五十六名の出席があり、五条警察署潮田秀子指導主任さんから、交通事故に対して、各自のよりいっそうの注意を喚起されました。

社会福祉協議会 会長 松本祥男

### 百歳をことうほく

民生

下京区で四名のなかのおひとり、修徳学区では上田亮三氏(明治三十三年四月十七日、亀屋町)がお元気に百歳をお迎えになりました。

市長記念品などのお祝いの伝達式があり、お受けになりました。式の後で、懇談、記念撮影などがあり、約三十分で、とどおりなく終了しました。

臨席者の紹介  
 ■ご家族  
 ■区役所  
 ■地域各種団体関係者  
 一、お礼の言葉

これからも、ますますお元気で、来る二十世紀にも、ご活躍されましようお祈りいた



各町応援席賑わう

敷下優勝

伝達式次第  
 日時 九月二十四日 午後三時ごろ

贈呈  
 一、区長から「市長からの記念品「京漆器寿盆」

贈呈  
 一、区長から「市長からの記念品「京漆器寿盆」



### おめでとございます

- 表彰 受賞者のお知らせ
- 九月十八日  
 京都市老人クラブ連合会 満九十歳祝賀表彰 牧野甚之助(材木)
- 十月九日  
 下京区長表彰 下京区体育振興会連合会 会長表彰 福井 正樹(弁財天) 吉岡 堪弥(御供石)
- 十月十二日  
 京都保護観察所長表彰 篠原 實(月見) 川成 茂照(大江) 京都保護観察所長感謝状 富田 迪子(布屋)
- 十一月九日  
 社会福祉事業特別功労表彰 柿本富美恵(布屋) 森 芳子(御供石) (敬称略)

# 修和会 山陰路をそぞろ歩き

## 松江 玉造温泉 出雲大社 大山

今年十月一日、二日、出雲の玉造温泉に行った。前日までぐずぐずしていた空も当日は晴天。安全運転のドライバーのもと、名神高速・中国自動車道をひた走る。米子自動車道の中ほど、高原で昼食後、バスは再び北上し、城下町松江へ。ここで、約二時間の自由散策となる。ある人は堀川めぐりに憩う。十六もある個性豊かな堀川の橋をくぐり抜けながら、船頭さんや乗り合わせた人と語り合ったり、川面を渡る秋風に吹かれながら、水鳥や松江の街並みを眺める。またある人は、松江城、武家屋敷、小泉八雲ゆかりの記念館、旧居跡などの史跡をそぞろ歩いた。バスは宍道湖を横目に、直ちに館内浴場で疲れをほぐし、我々グループだけの和やかな宴会のひとときを過ごした後、館前の建物(五階建て)にある公衆浴場で再び露天風呂やサウナを楽しんで就寝。翌日は、女性の目線が変化する「めづる細工工房」の見学と「出雲そば」の試食、さらに男性の喉が鳴る「島根ワイン



狩りをとりやめ、事務所(室内)での食べ放題に切り替わった。とは言え、予定箇所すべての観光ができたので皆さんは納得。帰路も同じ中国自動車道。名神高速を経て、三十分ほど早く八条口に到着。折から、小雨になってきたのと互いの無事を喜び合っており、それぞれ解散。修和会 会長 中村弘一

# 百歳の父に想う

## 亀屋町 上田亮三 家族

去る九月十四日、敬老の日先立ち百歳を迎えた父は、下京区長様の訪問を受け、総理大臣、知事、市長様方からの賞や記念品を、めでたく拝受する栄に浴しました。翌日には、修徳同窓会、女性会の代表の方がたよりお祝いの花や菓子をいただき、

家族とともに長寿を喜び合いました。こうして、つつがなく上寿を迎えることができました。父を慈しみ、ひとえに、父を慈しみ、懸命に介護をつくしてくださっている方がたや、父に優しい力づけの応援を送ってくださる方がたのお蔭と、有り難く感謝

# 初代同窓会長上寿いきいき

おめでとございます。今年亀屋町在住の上田亮三様がお元気で百歳をお迎えになりました。明治三十三年四月十七日生まれ、修徳同窓会の初代会長として卒業生の先頭に立っていろいろと同窓

の発展にご尽力いただきました。これからもお変わりなくお暮らしください。お祈り申し上げます。修徳同窓会 会長 松本祥男

# 夏の思い出 子供のころの地蔵盆

地蔵盆という言葉を開けば「ああ、今年もあとわずかで、夏休みもおわりやなあ。朝の間に、宿題や図画工作の仕上げを急ピッチでやらなくと……」と私たちが子供のころは思ったものです。大きい一枚の紙に、町内の筆達者な方がお地蔵さんの行事を書かれて、町内のどこかのお家の前に、貼り出されます。「今年はおこのお家かなあ。」と胸をふくらませて見に行つたものです。私たち、子供時は、だいたい、二十二と二十三日の二日間、一日目が数珠回し、二日目は福引き、あとは金魚すくいとか西瓜割りとかがありました。今思えば、みんな懐かしい遊びの二日間でした。今年も、子供さんが一人もおられなかったけれど、

その分大人たちが童心にかえって、数珠回しや福引きに、また、クイズの解答には大当たりの人のジョークも飛び出すなど、和気あいあいとした楽しい一日を過ごさせていただきました。二十一世紀に向かって大いに羽ばたきつつ、京都特有の古いしきたりの行事も、後世に言い伝えていきたいと思います。今日このごろです。

大堀町の地蔵盆世話役の方がた



こんなに子供たちが多いのがうれしい。(大江町地蔵盆)



祭の夜店をほうふつときせる輪投げで景品ゲット(大江町)

# 文化の祭典時代祭

『徳川城使上洛列』の当番年に、永遠の首都としての京都人の気概を感じながら演出して、もう二年目になります。その時代祭の行列に、毎年このながら、神事委員会は修徳自治連合会を代表して、供奉しています。今年平安講社第六修徳代表の川上弘(写真一番右)、同副代表の福井謙三(写真真ん中)、玉屋町町内会長の数井晴次(写真一番左)(以上敬称略)が参加しました。神事委員会 川上弘



あげた。地蔵さんは大地の徳の擬人化だといふ。地蔵さんが若い僧の姿で現れる古来の通念から子供の守護神の性格が強くなったといわれている。各町に地蔵や祭の行事が残ると子供や人の心に、人と人とをひきつける絆として地蔵さんが宿る。被害者の立場から、クルマを『動く地蔵』(杉田聡氏『世界』)と考える頭脳シックスが、道路思想を交える。交対協の障害者のための道路観察活動に期待している。

# 火事往來

誕生 おめでとう  
七月三日 水本 乃愛(小田原)  
七月二十日 西田 那乃(小田原)  
八月八日 南 あい(大江)  
八月十七日 高島 瑞穂(小田原)  
九月一日 谷山 直輝(深草)  
十月二十五日 上田 紘之(月見)

転入 よろしく  
九月十日 有川 雅明(玉屋)

転出 お元気で  
六月三十日 増田 当子(藪下)  
九月三日 濱部 弘之(大江)  
九月八日 今城 直人(大江)

訃報 お悔み申します  
六月二十一日 塩谷 泰一(高砂)  
七月六日 岡本 清子(御供石)  
七月二十日 石川 晴子(高砂)  
七月三十一日 川嶋 ミハ(玉島津)  
九月一日 田中 みよ(月見)  
九月十二日 浅野 靈仁(材木)  
九月二十五日 三宅 弥一(御供石)

# 編集後記

地蔵盆をとりあげた。地蔵さんは大地の徳の擬人化だといふ。地蔵さんが若い僧の姿で現れる古来の通念から子供の守護神の性格が強くなったといわれている。各町に地蔵や祭の行事が残ると子供や人の心に、人と人とをひきつける絆として地蔵さんが宿る。被害者の立場から、クルマを『動く地蔵』(杉田聡氏『世界』)と考える頭脳シックスが、道路思想を交える。交対協の障害者のための道路観察活動に期待している。

# 百歳を生きるのも、介護するのもむづかしい

は、心配と不安が疲れを増し、精神的苦悩から、頭痛や、胃痛を起すこともありました。また、それぞれ、各家庭への気遣いから、意見の食い違いが起り、喧嘩が始まることもありました。最近では、父は身体上には何の異変もなく、元気な日々を過ごしてはおりますが、現在の自分の状態が理解できておりません。いたって健康だった以前の自分自身のつもりで話をしたり、自分勝手な妄想を現実置き換えて納得してしまふことが多くなりました。無理もないとはわかっていながら、父であるが故



同窓会を代表して、松本祥男会長と小塩史子さんが、女性会の中村順恵会長とともに、お祝いの花束と菓子をお届け